

# 「上下顎骨形成術での 頭頸部領域の筋肉および筋機能の評価」 研究実施のお知らせ

## 1. 研究の対象となる方

2018年4月～2024年12月の間に山梨大学歯科口腔外科において上下顎骨形成術（Le Fort I型骨切り術、下顎枝矢状分割術）を施行された方。

## 2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2025年12月31日

## 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

研究機関長の許可日以降

## 4. 研究の目的

上下顎骨形成術は、上下顎骨形態の形態治療において最も行われている術式の一つです。これまでに上下顎骨形成術の前後において舌圧、咬合力、口唇圧といった口腔機能の影響における研究はいくつか行われています。また、上下顎骨形成術により頭頸部周りにおける筋肉の形態や活動性も変化することが考えられます。

そのため、CT画像を用いて筋肉の形態および機能を評価すること、並びに舌圧、口唇圧といった口腔機能の変化と頭頸部周りにおける筋肉の形態および機能への影響に関する検討を行うことを目的とします。

## 5. 研究の方法

この研究では、患者様に新たに何かして頂くことはありません。上下顎骨形成術前後のCT画像から頭頸部領域の筋肉の測定を行います。また、術前後において測定した舌圧、口唇圧を用いて手術の影響を調べます。それらから、頭頸部領域の筋肉の変化と舌圧や口唇圧に対する影響を調べます。

## 6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：診療記録(性別、年齢)、CT画像、舌圧、口唇圧など

試料：該当なし

## 7. 研究組織

【研究責任者】

所属：山梨大学医学部 歯科口腔外科学講座 職名：医員 氏名：小原陸

## 8. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

## 9. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

## 10. 利益相反について

外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究では利益相反はありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

山梨大学医学部歯科口腔外科学講座 医員 小原陸

メールアドレス：r-kohara@yamanashi.ac.jp

TEL：055-273-1111（代表）